

施策評価シート(平成26年度評価実施)	担当部課名	産業環境部 農林水産課	関連部課名	
基本目標	賑わいと元気あふれるまちづくり【産業】			
施策名	農林業			
安全・安心な食生活に資する農業の振興を図るために、付加価値の高い品種の栽培、地産地消の促進、新たな担い手の育成、ほ場整備や農地の集積などによる効率的な営農環境の整備などを進めるとともに、林業については、森林資源の保全、鳥獣被害の対策などの取組を推進します。				
施策が目指す蒲郡市の将来の姿				
<ul style="list-style-type: none"> <li>●安心できる農作物を供給し、魅力ある農業が行われています。</li> <li>●農地を「所有」から「利用」へ転換することを促進し、農業が身近になっています。</li> </ul>				

#### ◆具体化した施策の取り組み実績

##### 1 親しみやすく魅力ある農業の実現

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画
第六次産業支援補助金	1件 260千円	0件 0円	1件 300千円
市民農園設置数、区画数及び利用率	3園 34区画 97%	3園 34区画 91%	3園 34区画 97%
子ども農業教室開催(参加者数)	JA蒲郡市が実施	13校 小学3年生679人	13校 小学3年生702人

##### 2 遊休農地・耕作放棄地の解消と担い手の育成

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画
農地の利用権設定状況	9.9ha	12.7ha	10.0ha
新規就農者奨励金(対象者・支給額)	9人 1,000千円	4人 450千円	4人 500千円

##### 3 効率的な営農を支える基盤整備

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画
ほ場整備事業進捗率(大塚千尾地区)	46.80%	62.0%	78.1%
農業環境整備率(施工実施箇所数 /地元要望箇所数×100)	100%	100%	100%
食用ギク栽培LED利用実証試験	200千円	-	-
天敵防除実証試験	-	200千円	200千円

##### 4 森林等自然資源の保全

項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度計画
林道環境整備率(環境整備実施面積 /環境整備対策面積(72,000㎡) ×100)	44.4%	44.4%	44.4%
有害鳥獣駆除数	イノシシ125頭 アライグマ9頭 ハクビシン16頭	イノシシ199頭 アライグマ10 頭 ハクビシン22頭	イノシシ260頭 アライグマ100 頭 ハクビシン100頭

◆評価指標

指標名	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	将来目標
耕作放棄地面積比率	目標値			2.5%	
	実績値	3.3%	2.8%		平成32年度
担い手への農地の利用集積率	目標値	10.0%	10.0%	15.0%	
	実績値	14.3%	13.3%		平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
耕作放棄地面積比率	当年度耕作放棄地面積／管内耕地面積×100
担い手への農地の利用集積率	当年度までの集積面積／管内耕地面積×100

◆指標の分析

管内の耕地面積は農地転用や非農地化により毎年減少している。耕作放棄地面積比率は、農業委員会のパトロール活動や指導により0.5ポイントの改善が見られた。認定農業者等の担い手経営体数が減少したことを受け、担い手への農地の利用集積率が1.0ポイント減少となった。

◆今後の方針

**施策の課題**

本市の農業は、みかん、いちご、つまもの等の施設園芸が主体の農業であり、特に、ハウスみかんは、全国トップクラスの品質と生産量だが、原油価格の高騰等により、生産量においては平成19年度が約3,456tであったものが、平成25年度には、1,977tと実に43%も低下している。また、自給率の低下、国内の産地間競争の激化など、農業を取り巻く環境は厳しいものがあり、そういった中での各施策の展開は大変厳しいものがある。

個別の問題としては、イノシシ等の有害鳥獣による被害が増大しており、積極的、効果的な有害鳥獣対策を実施しなければならない。

また、TPP交渉においては、国民がTPPに対して一番知りたい事柄などが、まだまだ、明らかにされていない部分があり、加えて、内閣総理大臣の諮問を受けた、規制改革会議の第2次答申の行方も大変心配である。今後、情報の収集に努め、適正な、対応をしていきたい。

**今後の施策展開**

JA蒲郡市では、将来の蒲郡の農業や農地のあり方、担い手対策、個別農家の総合的な支援方法をまとめた「地域営農ビジョン」を作成中ですが、ビジョン案は、蒲郡市の農業を取り巻く環境・状況や今後10年以内の就農予定者・農業経営に対する意向等を取りまとめ、後継者支援・農家経営の健全化支援・農作業請負組織の支援、充実・行政の連携等々の人ビジョンを。また、農地集積・作目別農地集団化・小規模基盤整備等々の農地ビジョンが掲げられている。このビジョン案は蒲郡市が平成25年2月に作成した「人・農地プラン」を具現化するものであり、このビジョンが実現できるようJA蒲郡市ともしっかり連携し施策展開を図っていく必要がある。

課長評価	構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	施策の課題、今後の施策展開は上記のとおりである。明るい材料としては、JA蒲郡市が本気で農業振興（地域営農ビジョン作成事業等）に取り組んでいることである。農林業施策は各年度あまり変化がない状況であるが、少ない予算の中で、予算面での大きな見直しは難しいが、関係団体との連携を強化し積極的に効果的な事務事業の展開をはかりたい。

部長評価	施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。
	コメント	TPP問題や農業委員会等の今後の展開等、不透明な部分があるが、今までと同様にJA蒲郡市と連携して就農支援や遊休農地解消に取り組む。また、JA蒲郡市が「地域営農ビジョン」を作成中であるが、これに協力し地域に出て行き声を吸い上げ、農業振興に反映していく。

施策に属する事務事業一覧

総合計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費(千円)	人工	総合評価	事業の 種別	市長 マニフェスト	実施 計画
2-1	農林水産課	264	農業委員会事業	5,907	5,320	0.75	A	ア	—	×
2-1	農林水産課	265	農地転用等事業	0	7,046	1.12	A	ア	—	×
2-1	農林水産課	266	農地・農家情報管理事業	2,780	4,972	0.76	A	イ	—	×
2-1	農林水産課	267	農地制度実施円滑化事業	317	3,588	0.52	A	オ	—	○
2-1	農林水産課	268	農業資金貸付制度事業	21	1,019	0.13	A	オ	3	×
2-1	農林水産課	269	農業経営基盤強化資金利子補給事業	6	1,208	0.15	A	オ	3	×
2-1	農林水産課	270	農地流動化・利用集積等地域農政推進事業	84	994	0.21	A	オ	3	×
2-1	農林水産課	271	畜産振興事業	39	1,211	0.24	A	オ	3	×
2-1	農林水産課	272	米政策対策事業	587	2,772	0.36	A	オ	3	×
2-1	農林水産課	273	市民農園管理運営事業	177	2,393	0.32	A	カ	3	×
2-1	農林水産課	274	農林水産まつり実施事業	2,800	3,137	0.67	A	カ	3	×
2-1	農林水産課	275	相楽町生活環境施設改善事業	1,986	1,071	0.14	A	オ	3	×
2-1	農林水産課	276	農業振興事業	5,632	4,873	1.16	A	オ	3	×
2-1	農林水産課	277	食農教育実践事業	784	1,064	0.22	A	カ	3	○
2-1	農林水産課	278	有害鳥獣駆除事業	2,346	2,265	0.52	A	カ	4	○
2-1	農林水産課	279	新規就農・農地集積支援事業費	5,750	1,200	0.30	A	オ	3	×
2-1	農林水産課	280	農道新設改良事業	8,598	2,281	0.32	A	ウ	4	○
2-1	農林水産課	281	水路改修事業	8,226	3,705	0.50	A	ウ	4	○
2-1	農林水産課	282	ため池改修事業	4,149	2,964	0.41	A	ウ	4	○
2-1	農林水産課	283	ほ場整備事業(大塚千尾地区)	7,398	6,337	0.83	A	エ	4	○
2-1	農林水産課	284	土地改良施設維持補修事業	21,869	4,787	0.63	A	ウ	4	×
2-1	農林水産課	285	農地・水・環境保全向上対策事業	874	2,436	0.32	A	オ	4	×
2-1	農林水産課	286	土地改良区事務事業	12,362	12,430	1.64	A	オ	3	×
2-1	農林水産課	287	林道維持整備事業	6,399	2,756	0.39	A	ウ	4	×
2-1	農林水産課	288	松くい虫防除事業	883	1,857	0.28	A	カ	4	×